

# 後志地本通信

2014. 3. 1

— 第10号 —

自治労北海道  
後志地方本部  
〒044-8588  
倶知安町北1条東2丁目  
後志総合振興局内  
TEL 0136-22-6636  
FAX 0136-21-2105

## 町村職総決起集会

### 町村職のたたかう意思を確認!!

自治労全国町村評議会は、2月21日、東京都、日比谷公会堂で自治労第35回全国町村職総決起集会を開催した。集会は、春闘を闘う意思統一と町村職場における課題の明確化、取組の方針を確認するために毎年この時期に開催されている。今年の集会には全国から町村で働く自治労の仲間が815人（うち女性117人）、北海道から147人（うち女性34人）、後志地本から14人（うち女性2人）が参加した。



全国町村職総決起集会 後志地本参加者

総決起集会では、全国町村評飯塚議長が主催者を代表し「昨年の国家公務員の臨時特

例法に基づく地公への波及については全国の町村658単組のうち287単組が何らかの削減をされたが、そのうちの65%が削減圧縮をさせた。今春闘で改めて要求書を提出し組合員の声をもとに交渉する。自分たちで交渉をして決めるということを確認してほしい。町村評は結成60周年をむかえた。町村評の役割は学習と交流。同じ町村職だからこそ共通の課題がある。お互いの活動に

学ぶことを含めて実践をお願いしたい」とあいさつした。その後、自治労本部・氏家執行委員長が「安倍政権の化けの皮がはがれてきた。政権でも自民党でも誰も安倍首相の暴走を止められなくなっている。これは、かつての自民党でもなかったこと。集団的自衛権の問題では『最高権力者である私が選挙で選ばれたのだから私が決める』ということを繰り返している。これ

らの暴走を止めるために協力議員と力を合わせ取り組みを強化する。また、人事院報告による給与制度の総合的見直しについては地公給与にも大きな影響を与える。自治労は最大限の闘争体制を構築し総力をあげてたたかいをすすめる。最大限の結集をお願いする」とあいさつした。

自治労協力国会議員団を代表し、あいはらくみこ参議院議員は『この国の行く末は極めて危ない方向へと進んでいる。国会審議での安倍首相は横柄で慥無礼な態度であり人格が疑われる。質問をして

いる国会議員の後ろには多くの国民がいるにもかかわらず無視を続けている。権力を握った自分がすべてを決められると思っている。私たちの国は国民のもの。一人の権力者によって私たちの国を不安定な方向へ行かせるわけには

いけない。政府・与党には圧倒的な数の力はあるが、日本

の将来を考えたとき正念場にある。怒りをもって行動しなければならぬ。現場の声、地域の声を受け止め頑張り」と決意を述べあいさつした。

続いて、総務省交渉及び全国町村会交渉の報告、自治労本部・柚谷副委員長が60周年記念スピーチを行ったあと、「給与制度の総合的見直し」の動向について全体学習会を実施した。

その後、各県本部等から今後にむけた決意表明を受け、飯塚議長の団結ガンバローで集会を終了した。



自治労 第35回 全国町村職総決起集会



デモ行進をする 後志地本参加者 & 北海道本部参加者

集会終了後は、国会を經由する経路で「地方交付税の削減反対」「臨時・非常勤等職員の雇用確保」「町村職員の賃金格差是正」などを訴え、デモ行進、シュプレヒコール、国会誓願行動を行った。



国会議事堂前で記念写真



全日程終了後は、総決起集会参加者で国会見学（参議院）と参議院会館にあるあいはらくみこ・江崎孝両議員（自治労組織内議員）の事務所を表敬訪問し、交流を行った。



毎年恒例の国会見学 & あいはら、江崎両議員事務所への訪問!!  
今年は105名が参加!!



要求書を提出する 中村書記長

後志地方本部は2月26日に後志町村会へ「2014年度自治体労働者の賃金・労働条件に関する重点要求書」及び「2014年度男女平等社会及び職場における男女平等の実現に関する統一要求書」を提出しました。  
中村書記長が要求書を提出し、重点要求について趣旨説明を行い、あわせて、各自治体への情報提供も含め対応を求めました。

後志町村会へ  
要求書を提出!!